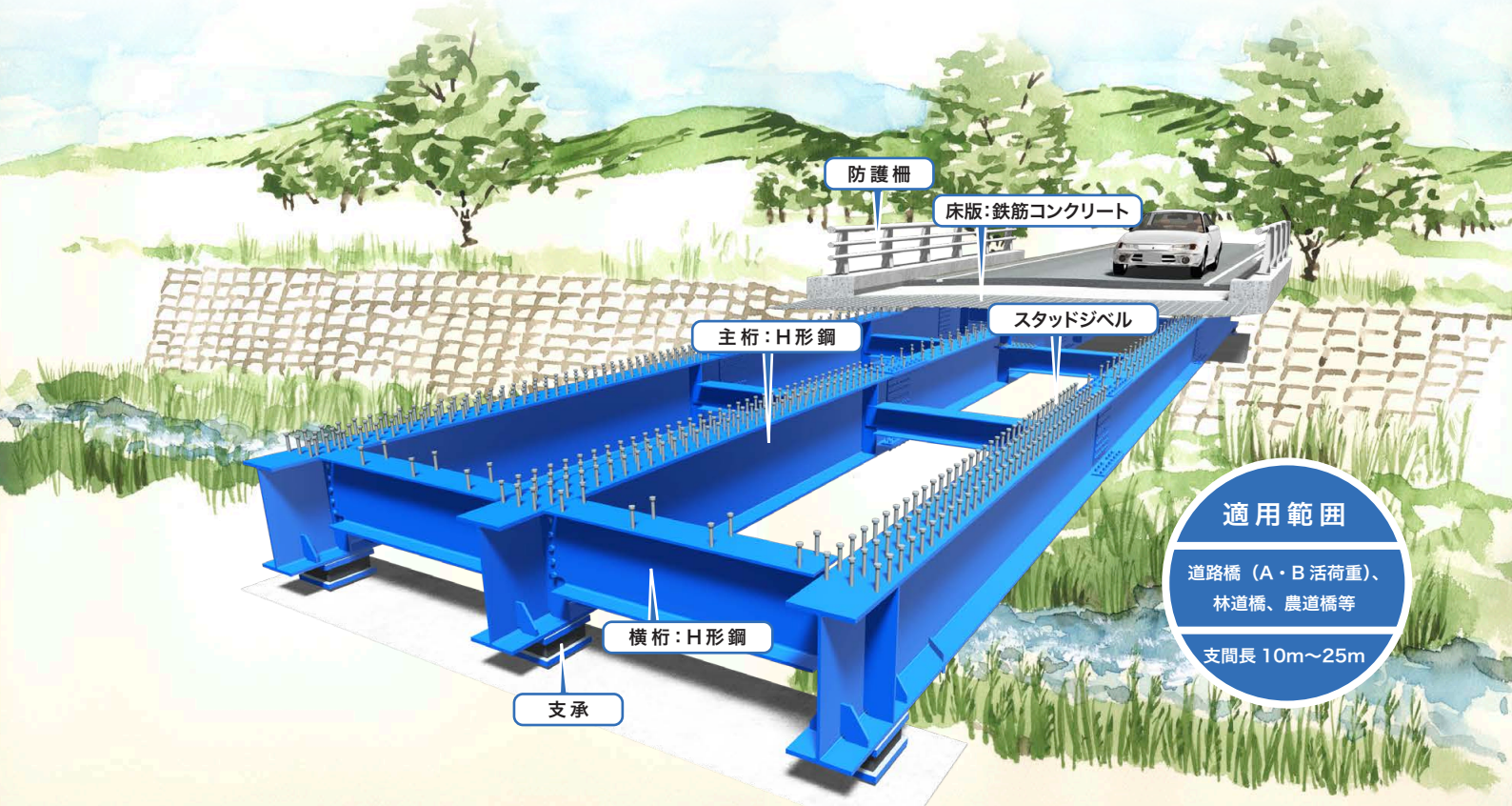


ジェコスのH形鋼橋梁 GHB[®]

H形鋼橋梁 GHB は、中小橋梁（主に地方自治体管理）の架け替えニーズだけでなく、新設・災害復旧にも対応した製品であり、主桁及び横桁に H 形鋼を採用した軽量かつシンプルな構造となっています。



下部工への負担軽減

PC橋と比較し死荷重を大幅に軽量化できるため、下部工への負担軽減となり、耐震性能上有利です。



標準化

最新の道路橋示方書(平成29年度版)に基づいた設計(合成桁)の標準化を図り、迅速な設計対応、工期・設計費用の縮減が可能です。



工期短縮

ロールHの使用による部材加工の省力化に加え、PC橋に比べて軽量で扱いやすく、ボルト接合を採用しているため、運搬や架設が容易となり工期短縮ができます。



山間部への適用イメージ

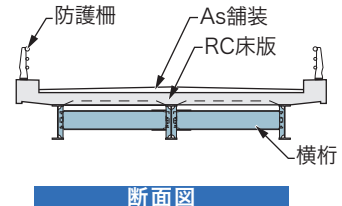
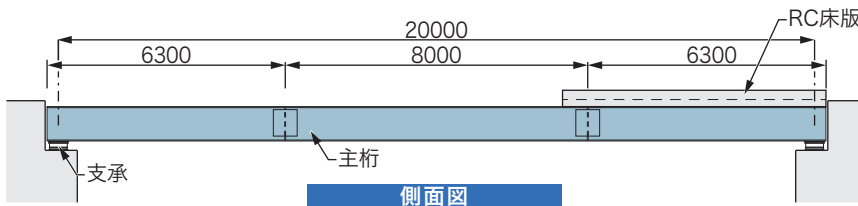
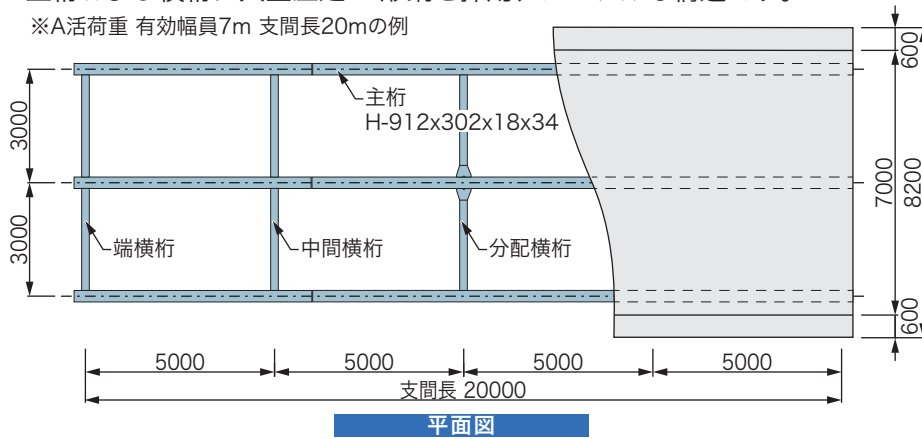


桁架設工

軽量でシンプルな構造

主桁および横桁に大型圧延H形鋼を採用、シンプルな構造です。

※A活荷重 有効幅員7m 支間長20mの例



適用範囲

形式：単純合成H桁橋

道路橋 (A・B活荷重)
林道橋、農道橋等
支間長 10m~25m

主桁サイズ
H-588~H-912

使用鋼材

- ・溶接構造用圧延鋼材 SM490Y
- ・溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 SMA490W

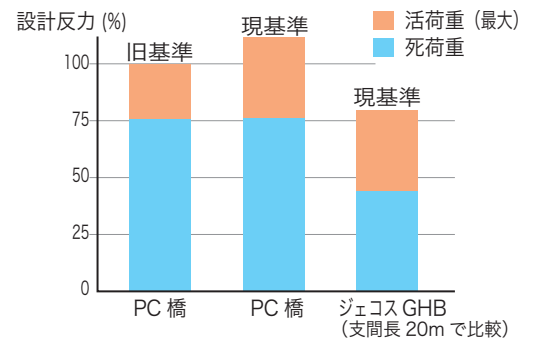
軽量化による下部工設計反力の低減

老朽化が著しい橋梁の大半は建設時の基準(旧道路橋示方書)に基づき設計されています。

架け替え時、現基準を適用すると旧基準に比べて活荷重が増大するため、既設下部工の増強や更新が必要となる場合があります。

GHBは、PC橋と比較して死荷重を低減できるため、既設下部工を活用した架け替えが可能です。

その場合、既設下部工の増強や新設下部工の建設が不要となるため、建設コストの削減が図れ、環境負荷低減にも貢献します。

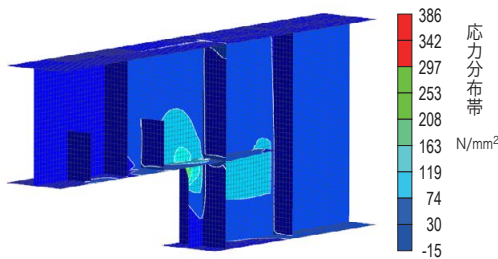


※旧基準：道路橋示方書 S31 ~ H2 年版
現基準：道路橋示方書 H29 年版

低桁高構造と付属物などへの対応

桁高制限への対応

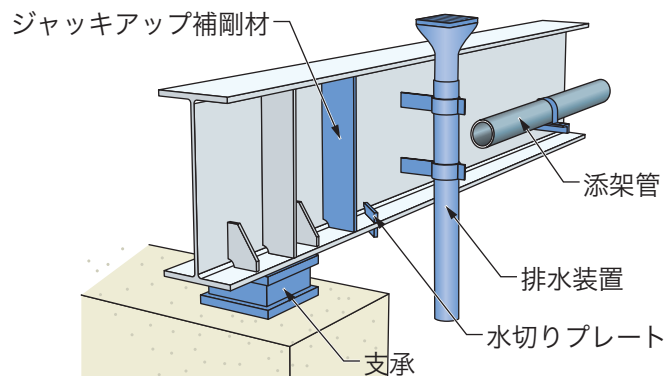
桁高制限を求められる場合、桁端部に切り欠き構造を導入した本製品では桁高低減を図ることが可能です。また、切り欠き部の補剛材、割り込みフランジやR加工により、切り欠き部の応力集中を低減しています。



低桁高構造の端部 FEM 解析

維持管理性・付属物への対応

維持管理部材や支承・伸縮装置等の付属物など、主構造にあわせて柔軟に対応し、ニーズにあったご提案をいたします。



お問い合わせ



ジェコス株式会社

加工・橋梁事業本部
インフラメンテナンス事業推進部

〒112-0004 東京都文京区後楽2-5-1 (住友不動産飯田橋ファーストビル) TEL 03-6699-7417 FAX 03-6699-7442



JFE